第770号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費に含む)

●発行日

相談人のの02 札幌市中央区 〒060-0002 札幌市中央区 北2条西7丁目かでる2-7(4F) 電話 011-251-0805 FAX 011-251-0804 Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

<u>(</u>

玉

手をつなぐ事業所協議会 全国

|研修大会・岩手県

日 (土) 盛岡 市にお い て標記 参加者: 0)

であり、 研修大会 きました。 員に 修大会で大いに学びを深めることが 盛岡会場に参加 現地参集者は北海道 感染者数過去最多」 ンによる参加 2 月 12 限定し、 大会が開催されました。 オミクロン株によって 限られた紙面 その他 という形態でした。 し、 大変内容の の報道が続 の地区はオンライ • 東北ブロ ですが コ 濃い ック会 ロナ禍 で、中、 新 次 私 で 研 は 規

させていただきます。 2点に絞って報告を

《シンポジウム》

こその発見等が

盛り込まれ、

大変参考

タル

になりました。

北海道手をつなぐ育成会

業継続性の強化を果える~求められる事の事業所の未来を考 ら全ての です。令和6年度かたすためには?~」 んが義務に は P -研修大会のテー ウィズコロナ **協付けられる** の事業所に策 染症 の 事業継続計 備 を含め えや対



応について議論がなさ れました。

コ

1

盛岡会場100名・オンライン110

名

れないこ

袁 には震災や新型コロ は は 安子 全育 田 中正 連)、 助言者に (跡見学 提言者 ナ



大切さを再確認できた。遭受 るの れ準 は「覚悟」を持って臨むこと。 くるかわからな る。 備したものがあれば戸惑いも軽 田中氏は ではなく、 事業所の 押し付けられてBCPを策定す まさにそのことが う意識 「不測の事態 体質をつくることに で前 日常業務 \ \ 0 自分は・ 向きに準備 遭遇 不測 の質を高め は 大丈夫とい することの い そし の事 した際に つやって だする 態に て、 減 7 さ

る。」とまとめられまし

が紹介され、いてもプロジ 受託が可能になったこと。人格を取得し、民間助成金 的とも言える課題に対し、酬は高くて払えない。」と うとやめられず、 を入れていること、 善を求めていることが紹 ト」が分かりやすく解 が75歳を迎える2025 T u 全育連の動向として、 ビスの各事業につい 村あおい 令和3年度における 介されました。 b e 成年後見制度における 在り方を検討 ジェクトチー 等も活用 常務理 民間助成金や国 身上保護が手薄 さらには、 して普及啓発に力 事 説され て 7 ع 介されまし ムを立 昨年4月に法 の改 いることな こいった致命護が手薄で報 一度使 また、 年問 会として改 障 ま 正 連 日の事業 ち上 寸 題 し ポ 福 Y た。 イン 12 塊 祉 か た。 げ つ 世 0 サ

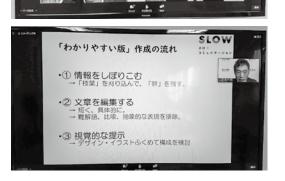
願間和地 あ (全国手をつなぐ事業所協議会運営委員 N P Ď, 4 区 が 7) 车 準備を進めます。」とのご挨拶 事 後に次期開催: 大きな拍手と共に閉会しました。 〇法人苫小牧市手をつなぐ育成会 堂に会と 業所協議会の藤田会長より Ĺ 旬、 次回こそ、 学びを深めることを 地となる新潟 全国 県 0 Ŀ 仲令越 が

ンター長 門内 勇治 ークセンターるーぷ

権利擁護セミナー(II埼玉 第12回全国手をつなぐ育成会連合会

本人の声聴き

加された感想をお聞きしました。
明年10月、札幌市をホスト会場に全育
のいて議論を深めました。さらに本年2
ついて議論を深めました。さらに本年2
ついて議論を深めました。さらに本年2
である「長江睦子さん」に参え副会長)が開催され、育成会としての後見
を副会長)である「長江睦子さん」に参
正様利擁護センターが主催する第11回オ
連権利擁護をお聞きしました。



されました。 とは言え、本人への意思決定支援と深くかか は意思を伝えることが(合理的配慮への)ス 分かりやすく、 の違い、『対象となる障害者、 害者差別解消法の改正を考える」という講演 わることだけに、 タート!』と講演をまとめられ、当然のこと て『対応要領、 です。『障害者差別解消法とは?』から始まり、 暮らそうネットワーク代表理事)」による「障 『不当な差別的取り扱い』と『合理的配慮』 特に、次のようなスライドをもとに『先ず は 随所に具体的な事例が示され、 一岩上洋 改めて勉強になりました。 対応指針』等について話がな 大変印象に残りました。 二 氏 · (二社 事業者』、そし 全国 地 域

- ・日常的な意思決定が大切です。
- な変更) にできるでのでは、できるでは、意思疎通の配慮、ルールなどの柔軟度、意思疎通の配慮、ルールなどの柔軟度を伝えましょう。 (物理的環境への配何らかの対応を必要としていることの意社会の中にあるバリアを取り除くため、
- ・希望を伝え納得できる配慮をお願いしま
- お互いに建設的な対話を心がけましょう。
- 対話によって理解を深めましょう。 は代替しうるものかを判断します。その内容が自分の希望する事か、あるい

な場合もあるでしょう。何より本人さんのそ明や分かりやすい、見やすい資料などが必要にルビをふるだけではなく、言葉の意味の説知的障がい者への合理的配慮、それは漢字

進まないように感じます。 が大切です。しかし、そのためには私たち親が大切です。しかし、そのためには私たち親が大切です。といるの意思決定を育め支援者の方々が、本人さんの意思決定を育め支援者の方々が、本人さんの意思決定を育め大切です。しかし、そのためには私たち親が大切です。しかし、そのためには私たち親が大切です。しかし、そのためには私たち親

めて教えていただいたように思います。「立ち止まらず、前に進みなさい。」と、改その意義を再確認したように感じました。強いられていますが、今回のセミナーでは、強いられていますが、今回のセミナーでは、中ラバン隊」はコロナ禍の中で大変な困難を利たちが力を入れて活動している「啓発キー

本人の会全道交流会

ひろげようみんなのわ2021

|画(YouTube)で交流めざす!

ナの影響で中止せざるを得ませんでした。場に事業を企画しましたが、残念ながらコロ本年で15回目を迎えました。昨年は旭川を会をいただき、道育成会が主催する標記の事業、「北海道新聞社会福祉振興基金」から助成

することに。2月末には完成予定です。を編集し、YouTubeチャンネルで交流を調集されて、各本人会から寄せられた動画活動はもはや困難と判断。初めての取り組み参加者が集合し、地域の特色を踏まえた体験再度、準備を開始しましたが、例年のように再会では、

ナなんかに負けな ンド Ĭ ₹08

オリジナルコースターづくり 機織教室」 本別町

えています。

(本別町手をつなぐ親の会

副会長

新津 和 也

らうのに、この事業を継続していきたいと考

機織りの楽しさを知っても

ないでしょうか

を実施しました。 数を制限し、感染予防対 取り組むことが大事であ ながらも、 策を万全に「機織り教室 ると考え、昨年11月、人 コロナの脅威を意識 出来ることに

新たな作品として活用で これは『裂き織り』とい ースターを織りました。 くなった着物を裂いてコ いての講義の後、 当日は『手織り』につ 着物が生まれ変わり 使わな

きます。選ぶ着物の色の

だきました。 組み合わせによって出来上がりが変わるの 最後にご自分で織った作品を持ち帰っていた は「おもしろかった!」という感想が多く、 てありません。参加していただいた方々から 手織りの完成品には同じものは一つとし

クスを流し込み冷えて固まったら完成です。

出来上がります。 に伝えることができたように思います。 かったのですが、その分、一人ひとりに丁寧 機織りは繰り返しの手順で、 人数を制限したことにより、参加 知的に遅れのある方でも取めしの手順で、素敵な作品が 者は少な

紅みやすく

そして、

達成感があるのでは

仲



間との再会に目輝か テコレーションに熱中 t 登別市

者は会員ら23名。講師は登別や室蘭を中心に 所「のぼりべつ東町ふれあいホーム」。参加くり』を開催しました。会場は生活介護事業 や貝殻をデコレーションした後、ジェルワッ いる「わくわく工房」代表の寺島恵美さんです。 キャンドルづくりのワークショップを行って 活文化教室事業として『ジェルキャンドル 着きを見せた昨年11月28日、 多いのではないでしょうか?登別市手をつな そんな悶々とした日々を過ごしている仲間が ぐ育成会では新型コロナウィルスが少し落ち コロ 参加者は透明なガラス瓶に色とりどりの砂 ナ禍で「出歩けない」「楽しみがない 知的障がい者生 づ





係団体連絡協議会創立30周年記念事業」並び市民会館で開催される「登別市障害者福祉関 りました。なお、完成した作品は3月19日、 定しています。 たオンリー に再会できたことを喜び合う素敵な1日とな 「障害者週間記念事業作品展」に出展を予 作品の出来はもちろんですが、 ワンのキャンドルが完成しました。 互いに元気

、登別市手をつなぐ育成会

事務局長 Щ 田大樹

障がい者スポーツ 活動状況調査 実施中

2」が開催されます。 いの ます。 選手団が派遣され、その活躍が期待され 3月4日から「北京パラリンピック20 日本からは4種目29名 7 2

に参画できるよう、スポーツに親しむ機会の害の有無などにかかわらず、道民がスポーツ スポーツ教室や、 拡充をめざし』障がい者が参加する(できる) について実態調査を実施しています。 はまとまり次第お知らせします。 は道育成会もお手伝いをしており、 北海道環境生活部スポーツ局では現在、『障 スポーツに係る余暇活動等 その結果 調査に

の 予 定

3月24日休 第5回理事会 (オンライン・ハイブリット方式)

知的障がい児者・自閉症児者の

生サポは家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 (●就労に関する相談支援)

●権利擁護に関する相談支援)の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、 知的障がい児者、自閉症児者のための 病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

病気やケガで入院したとき 入院給付金

主な補償内容 病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※ブランによって

賠償責任を負ったとき

個人賠償責任保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※ブランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり 職業従事中事故対応費用補償 ※ブランによって補償します

*上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

*注記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

*注記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

*注記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

死亡・後遺障害・入院・通院・手術/各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)

ケガをしたとき

■担当代理店・扱者

AIG損保の普通傷害保険

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園 2 F TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704 受付時間:午前9時~午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F TEL: 011-204-7510 受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階 北海道手をつなぐ育成会内

受付時間:午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)



病気やケガが絶えない・・・ 成人病や生活習慣病に備えたい… 虐待・雇用現場での差別など 人に相談しにくい悩みがある…

特別支援教育を必要とされている方へ

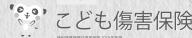
障がいのある方とそのご家族へ

ぜんちの

10.01

- 4





·最高日額1万円

- · 個人賠償責任補償
- · 弁護士費用補償
- 安心サポート



- 入院・通院を日額保障
- · 個人賠償責任補償
- トラブルに巻き込まれた際。 弁護士がサポート







. O

6

ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150 平日9時~17時/土日・祝日・年末年始を除く URL: http://www.z-kvosai.com/

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日勤の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

このようなお困り事に

心当たりがある方に・・・

【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

あんしん保険

有限会社オフィスブレイン

 $\pm 060-0032$

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階 TEL:011-207-2522 FAX:011-207-2523

どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所連絡協議会 の目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。 体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。 あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会

通所事業所連絡協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2·7(4F) 電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804 E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★



特定非営利活動法人 ラポラポ

〒079-1102 赤平市幌岡町113番地1

電話 (0125)32-2181 / FAX (0125)74-6171

E-mail: rainbow-2728@msknet.ne.jp

★就労継続支援 B 型事業所 ☆工房赤平虹の架け橋 定員…20名

★共同生活援助事業 ☆もえぎの家 定員…8名

★主な作業 ☆リサイクル作業 (古紙分別整理、回収等)

☆委託作業

(食品箱詰、革クリーム袋詰等) ☆手工芸

(刺し子、ペーパークラフト 小物作り等)



あいさつ・チームワークを大切に活動しています!